

# 事 業 評 価 書

補助事業名	久辺中学校物品購入		
補助事業者名	名護市長		
実施場所	名護市字豊原地内		
補助事業の成果の 目 標	<p>久辺中学校の音響機器、体育館備品及びカーテンについては、平成11年頃に購入していることから、老朽化が進んでおり、授業及び学校行事に支障をきたしている状況である。</p> <p>そのため、本事業によりこれらの物品を購入、設置することで授業及び学校活動等を安定的に行える環境を整備する。</p>		
補助事業の内容	音響機器、体育館備品、カーテン 一式		
補助事業の始期及び終期	平成30年度		
事業費及び交付金額		30年度	計
	事業費	6,022,620 円	6,022,620 円
	交付金額	6,022,000 円	6,022,000 円
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	<p><b>【補助事業の成果及び評価】</b> 本事業を実施したことにより、体育の授業等を安定的に行える環境を整備することができた。このことについて、中学校の教師へアンケートを実施したところ、「球技、器械運動等の授業では、生徒数に応じた数量が整備され、安定的に授業が行えるようになった」との回答が得られており、安定的に授業を行える環境が整ったと評価する。</p> <p><b>【地域住民への周知】</b> 保護者及び地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を市ホームページへ掲載して周知を図った。</p>		
事業の改善措置及び 今後の対応	今後とも安定した学校運営のため、整備した備品を適切に管理していく。		
事業の評価に際して の第三者機関の活用 の有無	無		

事 業 評 価 書

補助事業名	屋我地ひるぎ学園ほか8校物品購入		
補助事業者名	名護市長		
実施場所	名護市字饒平名、字真喜屋、字幸喜、大西、字豊原、字屋部、東江、宮里地内		
補助事業の成果の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 屋我地ひるぎ学園(生徒用机・イス) 上記の学校にある生徒用机・イスは購入から15年経過して老朽化が進んでおり、授業に支障をきたしている状況である。</li> <li>○ 屋我地ひるぎ学園(調理台) 上記の学校にある調理台は購入から42年経過して老朽化が進んでおり、授業に支障をきたしている状況である。</li> <li>○ 真喜屋小学校、瀬喜田小学校(工作台) 上記の学校にある工作台は老朽化が進み(真喜屋小学校は昭和54年度購入、瀬喜田小学校は不明)、授業に支障をきたしている状況である。</li> <li>○ 真喜屋小学校、東江中学校(角イス、丸イス) 真喜屋小学校家庭科室には丸イスがなく、老朽化した角イスを代用している。真喜屋小学校及び東江中学校にある丸イスは老朽化が進み(真喜屋小学校は不明、東江中学校は平成16年度購入)、授業に支障をきたしている状況である。</li> <li>○ 真喜屋小学校、屋部中学校(図書室用テーブル・図書室用腰掛) 真喜屋小学校及び屋部中学校にある図書室用テーブル(真喜屋小学校は昭和49年度購入、屋部中学校は平成3年度購入)と真喜屋小学校の図書室用腰掛(平成6年度購入)は老朽化が進み、授業に支障をきたしている状況である。</li> <li>○ 名護小学校、久辺小学校(給食台) 上記の学校にある給食台は老朽化が進み(名護小学校は昭和48年度購入、久辺小学校は昭和51年度購入)、給食配膳等に支障をきたしている状況である。</li> <li>○ 久辺中学校(会議用テーブル) 上記の学校にある会議用テーブルは購入から36年経過して老朽化が進んでおり、授業に支障をきたしている状況である。</li> <li>○ 大宮中学校(音楽室用ひな壇) 上記の学校にある音楽室用ひな壇は購入から29年経過して老朽化が進んでおり、授業に支障をきたしている状況である。</li> </ul> <p>以上の課題改善に向け、本事業によりこれらの物品を購入、設置することで授業及び学校活動等を安定的に行える環境を整備する。</p>		
補助事業の内容	工作台、角イス、丸イス、図書室用テーブル、図書室用腰掛、給食台、生徒用机・イス、調理台、会議用テーブル、音楽室用ひな壇 一式		
補助事業の始期及び終期	平成30年度		
事業費及び交付金額		30年度	計
	事業費	12,631,680 円	12,631,680 円
	交付金額	12,631,000 円	12,631,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【補助事業の成果及び評価】</b> 本事業を実施したことにより、体育の授業等を安定的に行える環境を整備することができた。このことについて、小学校及び中学校の教師へアンケートを実施したところ、「以前、使用していた給食台は老朽化のため、不安定であり、配膳の際に安全面での配慮はかなり必要であったが、新しい給食台は安定性・衛生面でもよく給食の配膳が行えるようになった。」等の回答が得られており、安定的に授業を行える環境が整ったと評価する。</p> <p><b>【地域住民への周知】</b> 保護者及び地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を市ホームページへ掲載して周知を図った。</p>		
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも安定した学校運営のため、整備した備品を適切に管理していく。		
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無		

# 事業評価書

補助事業名	市道辺野古地区整備工事用地購入								
補助事業者名	名護市長								
実施場所	名護市辺野古地内								
補助事業の成果の目標	<p>・本市辺野古地区の市道は、一部の区間を除いて昭和30年代後半に整備されたものであり、老朽化も顕著で排水機能も万全でない状態である。</p> <p>さらに幅員が4m未満の道路も多く、車両の離合、緊急車両の進入等に支障をきたしており、道路環境の整備が求められている。</p> <p>このため、辺野古地区市道42路線の排水路及び舗装整備、また、幅員の狭い道路については、拡幅を実施し、車両通行の円滑化と排水機能の改善を行い、地域住民の生活環境の改善を図る。</p> <p>そのため、用地購入等を実施することにより、辺野古地区の市道を整備することができる。</p>								
補助事業の内容	物件調査 一式、物件補償 17件、用地購入 A=458.84㎡ 17筆								
補助事業の始期及び終期	平成24年度～平成30年度								
事業費及び交付金額		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	計
	事業費	円 26,976,078	円 19,193,461	円 20,665,801	円 5,773,010	円 2,056,798	円 39,656,427	円 48,681,372	円 163,002,947
	交付金額	26,975,000	19,192,000	20,658,000	5,772,000	2,056,000	39,654,000	48,678,000	162,985,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【補助事業の成果及び評価】</b> 本事業を実施したことにより、市道辺野古地区整備の用地を確保することができた。</p> <p>令和元年11月に工事に着手し、同月に完了したことを確認できたことから、本事業が市道辺野古地区整備における必要な事業であったと評価する。</p> <p>本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施されている旨を以下の方法により、地域住民への周知を図った。 ・名護市ホームページへ掲載。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、地元のニーズ等を踏まえ、計画的に道路整備を行う。								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無									

## 事 業 評 価 書

補助事業名	屋我地ひるぎ学園ほか5校物品購入		
補助事業者名	名護市長		
実施場所	名護市字饒平名、字真喜屋、東江、字汀間、字田井等、宮里地内		
補助事業の成果の 目 標	<p>○ 屋我地ひるぎ学園、真喜屋小学校、東江小学校(カーテン) 上記の学校にあるカーテンは購入から19年以上経過して老朽化が進んでおり、授業に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 緑風学園、羽地小学校、大宮中学校(音響機器) 上記の学校にある音響機器は購入から23年以上経過して老朽化が進んでおり、授業等に支障をきたしている状況である。</p> <p>以上の課題改善に向け、本事業によりこれらの物品を購入、設置することで授業及び学校活動等を安定的に行える環境を整備する。</p>		
補助事業の内容	カーテン、音響機器 一式		
補助事業の始期及び終期	平成30年度		
事業費及び交付金額		30年度	計
	事業費	6,129,000 円	6,129,000 円
	交付金額	6,128,000 円	6,128,000 円
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	<p><b>【補助事業の成果及び評価】</b> 本事業を実施したことにより、体育の授業等を安定的に行える環境を整備することができた。このことについて、小学校及び中学校の教師へアンケートを実施したところ、「特に午前中に入り陽がすごく、児童の学習にも支障がでる程(席を移動する等)であったが、整備後は集中して授業を受けることができている。」や「音声が割れる、音声が聞こえにくいなどの音声トラブルがあったが、音響機器の整備により、音声トラブルが回避され、学校行事や授業等の充実につながっている。」等の回答が得られており、安定的に授業を行える環境が整ったと評価する。</p> <p><b>【地域住民への周知】</b> 保護者及び地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を市ホームページへ掲載して周知を図った。</p>		
事業の改善措置及び 今後の対応	今後とも安定した学校運営のため、整備した備品を適切に管理していく。		
事業の評価に際して の第三者機関の活用 の有無	無		